きゅうりのまちで暮らして
― 私たちの産地への思い ―

農政課☎(88)9138

須賀川自慢のきゅうりの季節がやってきました。今月号では、きゅうりの担い手育成事業や、きゅうりに関わる皆さんの声を紹介します。きゅうりが食卓に届くまでに多くの思いがありました。

きゅうり産地の担い手として

市では、きゅうり産地の維持・拡大を図るため「岩瀬きゅうり担い手育成事業」を行っています。新規就農を目指す研修生の吉田さん、講師の斎藤さんに話を聞きました。

岩瀬きゅうり担い手育成事業
研修生
吉田　祐大（ゆうだい）さん

ー農業を始めたいと思った理由は？

妻の実家が農業をしていて、頂いた米や野菜がどれも美味（お）しく、感動しました。自分も誰かを感動させられるものを作りたいと思い、農業を始めようと決心しました。

ー研修で農業に触れた感想は？

機械の操作や専門用語が難しいと思うときもありますが、講師の皆さんが丁寧に教えてくれます。少しずつですが、技術や知識が身に付いてきているので、毎日が充実しています。

小さかったきゅうりの苗が日々成長していく様子を見ていると、自分がやっていることの結果が目に見えて分かります。農業のやりがいと大変さの両方を感じています。

ー目標を教えてください

まずは、残りの研修期間を大切に、きゅうりの栽培技術を学んでいきたいです。

就農後は、きゅうり産地の担い手として地域に貢献していきたいと思っています。

斎藤さんから誘引の仕方を教わる吉田さん

岩瀬きゅうり担い手育成事業

(公財)須賀川市農業公社の臨時職員として、1年間働きながら農業の基礎的な技術と知識を習得します。

研修内容
きゅうり栽培の実地研修、農産加工　ほか

対象者　以下の全ての要件を満たす人
▶18歳以上45歳未満の人
▶心身ともに健康な人
▶(公財)須賀川市農業公社と雇用契約ができる人
▶研修終了後、本市に居住し、きゅうり農家として就農する意欲のある人

岩瀬きゅうり担い手育成事業
講師
斎藤　敏夫さん

ー講師として育成事業に携わった感想は？

以前から新規就農者を育てる取り組みが必要だと考えていて、講師を引き受けました。

研修生は、きゅうり産地の担い手になろうと真剣に取り組んでいます。こうした姿勢で取り組んでもらえると、教えがいがあります。私にとっても研修生の受け入れは良い刺激になっています。

ー指導する上で心掛けていることはありますか？

研修生にとって、私の教えが基礎となり、作業中のけがの心配などもあります。確かな技術と知識を身に付けてもらうため、作業前に時間を掛けて説明するようにしています。

ー研修生へメッセージを

須賀川は、きゅうりの産地として全国から評価されています。注目されているからには、いい加減なものは作れません。今後も勉強を続け、皆さんに喜んでもらえる美味しいきゅうりを作ってもらいたいです。

みずみずしいきゅうりは、色も鮮やか